



税務と居住権



税務状況を理解するためには、税務上居住権があるかどうかを知る必要があります。税務上の居住権は、他の目的における居住権と異なる場合があります。あなたがオーストラリア国民でなくても、また移民目的の永住者でなくても、税務上は居住権がある場合があります。

居住権と税金

個人として、以下の3つのカテゴリーのいずれかに当てはまります。



税務上オーストラリア住民である

以下の居住権テストのいずれかを満たす場合、税務上オーストラリアの住民となります。

これは、すでに海外に税金を支払っている場合でも、世界中から得た所得をすべて申告しなければならないことを意味します。

同一所得に対するオーストラリアの税金を減額するために、国外の所得税の相殺が一般的に利用できます。



外国人居住者

以下の居住権テストのいずれかを満たさない場合は、外国人居住者となります。

外国人居住者には、免税のしきい値がなく、メディケアの課税額は支払いません。

あなたは、オーストラリアの納税申告書において、課税対象となるオーストラリア資産のキャピタルゲインを含め、オーストラリアで得られたあらゆる所得を引き続き申告しなければなりません。

高等教育融資プログラムまたは貿易支援融資の負債がある場合、世界中の所得を申告するか、納税申告義務なしを通知する必要があります。



一時滞在者

一時滞在ビザを所持し、あなたまたはあなたの配偶者が1991年社会保障法（オーストラリア国民または永住者ではない）の定義でオーストラリアの住民でない場合、あなたは「一時滞在者」となります。

一時滞在者として、あなたはオーストラリアで得た収入と、オーストラリアの一次的滞在者である間に海外で行われた雇用やサービスから得られたすべての収入だけを申告する必要があります。

その他の外国所得およびキャピタルゲインは、申告する必要はありません。

ワーキングホリデーメーカーと双方居住者には別の規則があります。

居住権テスト



税務上、あなたがオーストラリアの住民かどうかを判断するために使用されるテストは4つあります。いずれかのテストを満足した場合は、オーストラリアの住民になります。オンラインツールを使用して状況を評価することができます ato.gov.au/residencytests (英語) をご覧ください。

✓ 居住権テスト

このテストでは、通常の「住民」の意味に従い、オーストラリアに住んでいる場合、住民であり、それは恒久的に、またはかなりの期間、ある場所に落ち着くあるいは通常の住まいがある、そして特定の場所に住むことを意味します。

住民ステータスを決定するために利用できる要因の中には、物理的な存在、意図と目的、家族や事業/雇用のつながり、資産の維持と立地、社会的および生活上の取り決めなどがあります。

✓ 居住地テスト

このテストでは、居住地がオーストラリアにある場合、行政長官が、「恒久的な居住地」がオーストラリア国外であることを確信している場合を除き、あなたはオーストラリアの住民となります。

居住地とは、法律上、あなたの恒久的な住まいとみなされている場所です。例えば、出身地（あなたが生まれた場所）であったり、意図的に選択した場所（永続的に住むことが目的で住居を変更した場合）であったりします。

永続的な居住地とは、ある程度永続的に住む場所で、一時的な居住地とは違うはずで

✓ 183日間テスト

このテストでは、「通常の居住地」がオーストラリア国外であり、オーストラリアに住む意志がないことが確定しない限り、1年の半分以上をオーストラリアで過ごす場合は、居住者となります。

すでにオーストラリアに住んでいる場合は、海外での滞在日数にかかわらず、このテストは一般的に適用されません。

現実的には、このテストはオーストラリアに到着する個人にのみ適用されます。

✓ 連邦スーパーアニュエーションファンドテスト

このテストは、公務員スーパーアニュエーション制度(PSS)または連邦スーパーアニュエーション制度(CSS)に拠出する資格を有する特定のオーストラリア政府職員にのみ適用されます。この場合、他の要因にかかわらず、あなた（およびあなたの配偶者と16歳未満の子供）はオーストラリアの住民とみなされます。

例



エミリー-日本で教員をしている

事実

- エミリーはオーストラリアを離れて日本で英語の先生をしています。
- 彼女は1年契約を結んでおり、その後、中国をはじめとするアジアを訪問し、それからオーストラリアに帰国して、そこで仕事を再開する予定です。
- 日本滞在中、彼女を本当の家族のように扱ってくれる一家と一緒に暮らしています。
- 彼女は留守の間、オーストラリアで不動産を借し出しています。
- エミリーは独身です。彼女の両親は他州に住んでおり、兄はフランスに移住しました。

結果: エミリーはなぜオーストラリアの住民とみなされるのでしょうか?

エミリーが日本に住んでいたとしても、居住者テストでは次のようになります:

- 彼女の居住地はオーストラリアにある（オーストラリアに常に住んでいた居住者は、海外に滞在した場合でも、永久に他の国に移住することを選択しない限り、一般的には本国における居住権を維持します）。
- そのため、彼女の永久的な居住地は、オーストラリアのままです。



i これらの例は参考に過ぎません。居住地の決定は、お客様の個人的状況によって異なります。その他の例は、ato.gov.au/residencyexamples（英語）で確認できます。



ブロンウィン-長期に渡り海外で仕事を行う

事実

- オーストラリア人駐在員のブロンウィンは、3年間の海外勤務の職を受け入れました。期間をさらに3年延長することができます。
- ブロンウィン、その夫、そして3人の子供が海外に移動することにしました。
- 彼らは、いつかオーストラリアに戻るつもりであるため、オーストラリアの不動産を手放しません。
- 持ち家は海外滞在中に貸し出します。
- ブロンウィンは、3年後滞在を延長するかどうかはまだ決めていません。家族がそこでの生活をどれほど気に入るかによって後で決めるつもりです。
- 海外滞在中、契約に基づいて提供される賃借手当で家を借ります。

結果: ブロンウィンはなぜ海外居住者とみなされるのでしょうか?

居住者テストを満足しない理由は、ブロンウィンがオーストラリアから物理的に離れている期間の長さ、そして、周辺環境（海外で家庭を築く、オーストラリアの家を借し出すなど）であり、オーストラリアの家を手放していないとは言え、オーストラリアに住んでいることにはならないからです。

住民テストに合格しない理由:

- 彼女の永久的な居住地は、以下の理由でオーストラリア国外です
 - 彼女が海外に滞在する期間の長さ
 - 海外で家庭を築いたこと
 - 家族の同伴
- オーストラリアの家を売却しないという事実は、関連性はありませんが、他の要因を打ち消すほど重要であるとみなされません
- それは、彼女が海外滞在中に自分の家を貸し出して、その家とその期間中放棄したとみなすことができるからです。

双方居住者

あなたが国内所得税法上はオーストラリアの住民であり、他国の税法上は他国の住民である場合は、双方居住者とみなされます。オーストラリアが外国と二国間租税条約を締結している場合、通常、どの国がオーストラリアおよび外国源泉所得に課税する権利を有するかを、租税条約の居住地判定によって決定します。

詳しくは、ato.gov.au/taxtreaties（英語）をご覧ください。

ワーキングホリデーメーカー

ビザサブクラス417または462でワーキングホリデーの目的でオーストラリアにいらした場合は、居住権ステータスにかかわらず固定税率が適用されます。

詳しくは、ato.gov.au/whm（英語）をご覧ください。

これは概要に過ぎません。

詳しくは、登録された税務代理人に相談するか **13 28 61** にお電話、またはato.gov.au/residencyandtax（英語）を参照してください。また母国語で会話をするには、**13 14 50** の翻訳・通訳サービス(TIS National)にお電話し、**13 28 61** に接続するように依頼してください。